中京大学チャレンジ奨励金　最終報告書

2021年2月10日

学科・学年　経営学科・２年

氏名　　ダォティニン

１．プロジェクト名

Japanese for you

２．活動期間

2020年7月19日　　～　2021年2月10日

３．活動場所(主だった住所・施設名)

中京大学 センタービル・4号館・1号館

◆プロジェクトの当初予定していた活動内容

・毎週日曜日、日本語の日常会話で困っている在日ベトナム人に向け、中京大学の教室や学外施設を借用して日本語教室を実施します。
・協力者はベトナム人の大学生や社会人、日本人の知り合いなどです。
・毎回授業で必要なプリントや資料を配布します。 生徒の日本語のレベルによってN4・N3・N2の三つにクラスを分けて授業を行います。 文字語彙や文法や読解や会話など各分野で担当の協力者を分け、各クラス毎に実施していきます。 授業終了後も、生徒の質問(日本での生活面など)や相談を受付けるなど、勉学だけでなく生活面でもできる限りサポートをしていきます。

◆中間報告時に抱えていた課題への対応結果

抱えていた課題：

① **会話授業：**会話の時間には、生徒さんたちはモジモジして、人の前に日本語で話すのはあまり勇気を出さない、自信持ってないとの現状です。結局、協力者の日本人やベトナム人の喋るのが割と多くて、日本語会話向上にあまり効果はないのではないかと感じています。

対応結果：なめらか日本語会話という教科書を使用したり、 Shadowing(シャドーイング)を導入したりして、発音練習の効果が出て来ました。また、問題クイズゲームを通じて会話授業の雰囲気も盛り上げられると感じました。

② **教室の問題**：大学の教室を使用できない時は市内の生涯学習センターなどを借りる予定だったのですが、

対応結果：一箇所で３部屋を午前（ 9:00-12:30）と午後(13:00-16:30)借りるのが厳しくて予定通りうまくできませんでした。

対応方法： 愛知淑徳大学が ZOOM で日本語ボランティア教室をやっていますので、そちらの教室と連携協力しようと予定がありました。

対応結果：この連携については、生徒さんがパソコンや常時接続できる回線を持っていない人が多かったため、具体的な実現には至りませんでした。

◆プロジェクトの目標達成度合い（活動内容や到達レベル等を具体的に記入してください。成果物があれば、添付してください。）

目標

日本語教室を通じて日本語の日常会話で困っている在日ベトナム人に少しでも支援できるよう目標を立てました。

達成状況

日時	協力者	生徒
2020 年 9 月 13 日	7 名	15 名
2020 年 9 月 20 日	9 名	18 名
2020 年 9 月 27 日	7 名	17 名
2020 年 10 月 04 日	8 名	15 名
2020 年 10 月 11 日	8 名	21 名
2020 年 12 月 13 日	2 名	6 名
2020 年 12 月 20 日	3 名	10 名
2021 年 01 月 10 日	1 名	4 名

技能実習生・エンジニア・家族滞在など、多くのベトナム人が参加に来ました。毎月、教室の日程・場所について色々な連絡が来て、やはり日本語学習のニーズが高いと感じました。
また、技能実習生のある管理団体（Pacific 共同組合）の方も教室見学に来ました。教育施設完備の環境で協力者のみんなが真面目で授業をすることを見たその方は「みんな素晴らしい」と言いました。
そして技能実習生の中にある何人かの生徒が毎回、企業の方に車での送迎にて参加する方もいて、これはまさに企業も色々応援しているのではないかと思います。
一方、大学の行事・他団体への貸し出し等で空き教室を確保できなかった（例えば１１月）、また学外施設の予約が厳しく会場の準備が困難であったこと、また新型コロナウイルスの感染拡大により緊急事態宣言が発出されたことによりで長い休みの時もあって、生徒と協力者のやる気がだんだん失せて出欠がバラバラになってしまいました。

・クラスの習熟度：
2020 年 12 月の日本語能力試験の結果としてＮ２レベルとＮ３レベル合格者がいました（具体的な人数は不明。個人のフェイスブックの連絡により 6 人の合格者がいました）
会話の授業で活発に会話するクラスはＮ３レベルのクラスです。

自己評価による達成度 60%

◆改善点、やり残したこと

やり残したこと：予定通り毎週に授業を実施できなかったこと。 ⇒これに関する改善点：確保できる会場場所を探すこと
◆今回のプロジェクトを実施したことにより、どのような気付きを得のか （例えば、成果の活用・利用について、次回のプロジェクト活動に向けての抱負、卒業してからの展望等、自由に記入してください）
自分の力で少しでも他人を助けることができてとても嬉しいです。チームワークと人のために努力の精神を身につけ、このボランティア活動を通じて充実する学生生活を送っています。卒業してから社会に出ても自分の活躍した経験で社会活動に貢献したいと思います。
◆チャレンジ奨励金制度を活用したい学生へのアドバイス
中京大学のチャレンジ奨励金制度は学生の行動力を促進するし、チャレンジ精神を応援し、とても意味がある奨励金制度だと思います。これからチャレンジ奨励金制度を活用したいみなさんも是非応募して新しいことに挑戦心を発揮してください！
◆実施結果（成果） ※必要に応じて写真・現物添付可。枠欄が足りなければ、追加してご記入ください。

経済